

【庶務報告】

2023 年度総会

日時：2023 年 5 月 28 日 (日) 14 : 45 ~ 15 : 45

場所：東京家政大学 14 号館 143A 教室

参加者：20 名、委任状 10 名

議事録抜粋

1. 報告事項

1) 2023 年度役員について (潮田部会長)

資料 1 に基づいて 2023-2024 年度役員の報告がされた。また、現在の地域区分では今後の被服衛生学セミナー実施が困難であるため、東日本、西日本の 2 区分としていく提案があった。

2) 2022 年度事業報告 (薩本前年度企画責任幹事)

資料 2 に基づいて 2022 年度の実業について報告がなされ承認された。2 月 18 日の公開講座の参加者は、部会員 34 名、会員以外数名、計 40 名弱であったと報告がなされた。

3) 2022 年度会計決算報告 (深沢前年度会計責任幹事)

資料 3、5 に基づいて 2022 年度決算報告がなされた。会員減少により、会費・参加費が減収となっている。

久慈監事より資料 4 に基づき監査報告がなされた。

4) 2022 年度編集報告 (前田前年度編集責任幹事)

資料 6 に基づいて、被服衛生学第 42 号の発行について報告がされた。100 部印刷し、国内 71 通、国外 1 通、国会図書館へ 2 通発送された。

5) 2022 年度庶務報告 (野上庶務責任幹事)

前年度庶務責任幹事に代わり、資料 7 に基づいて 2022 年度の会員動向が報告された。退会者 3 名、種別変更 1 名であり、正会員 52 名となっている。

6) 2022 年度ホームページ活動報告 (傳法谷前年度 HP 責任幹事)

資料 8 に基づいて、2022 年度の HP について順調に運用されたとの報告がなされた。HP の担当マニュアルの完成は 2024 年度中を予定している。

7) 第 41 回被服衛生学セミナーについて (芝崎実行委員長)

資料 9 に基づいて現段階の準備状況の報告がなされた。当初計画した宿泊施設がコロナで受入れ不可となったため、場所を変更し奈良女子大学で実施する。

8) 日本家政学会 2023 年度活動助成申請結果 (潮

田部会長)

被服衛生学部会より 2 件の申請を行っているが、結果が確認できていないため、潮田部会長が早急に確認を行う旨報告された。

2. 審議事項

1) 2023 年度事業計画について (佐藤真理子企画責任幹事)

資料 10 に基づいて 2023 年度の事業計画が提案され、承認された。

資料 10、11 に基づいて、7 月 22 日の講演会の計画が提案され、開催について承認された。

内容は 3 名の外部講師で構成し、公開講座にはせず Zoom によるオンライン開催、参加費は無料とする。6 月中旬より申し込み受付、問い合わせ先は佐藤真理子企画責任幹事との説明がされた。部会メーリングリストからも 6 月中旬頃案内するよう依頼がなされた。

2) 2023 年度予算案について (深沢前年度会計責任幹事)

資料 12 に基づいて予算案が提案され承認された。収入の部として、年会費は部会員減少により減額している。支払いの部として、編集の印刷費は、封筒を 2 年分まとめて印刷するため、2 年毎に増額する必要がある旨、会計の引き継ぎ事項に加えることになった。前田前年度編集責任幹事より会計へ資料を送付することになった。

3) 2023 年度編集計画案について (西原編集責任幹事)

資料 13 に基づいて 2023 年度編集案が提案され、承認された。

今後の検討課題として、原著論文と資料の定義についての明文化と、部会員以外の先生への査読料の検討を行う。検討課題については会則変更・投稿規定には関わらないことを確認済み。

4) 2023 年度 HP 計画案について (傳法谷 HP 責任担当幹事)

資料 14 に基づき 2023 年度活動内容について提案され、承認された。メーリングリストと HP 部会役員名簿の更新のため、庶務より会員情報を伝えることになった。HP をより活用できる方法を、部会員を対象とするアンケート等から検討したいという提案があり、承認された。

5) 第 42 回被服衛生学セミナーについて (潮田部

会長)

資料 15 に基づき第 42 回は関東地区での担当になり、潮田先生を実行委員長とし、2024 年 8 月 27, 28 日に東京家政大学で行うことが提案され承認された。被服衛生学セミナーの担当地域を東日本、西日本の 2 区分に変更することについては 8 月の臨時総会にて提案する予定であると説明された。区分変更は会則変更に関わらないことが確認済み。

6) 名誉会員の推挙について (潮田部会長)

資料 16 に従って、斎藤秀子先生が名誉会員として推挙され、承認された。肩書は「元山梨県立大学」ではなく、「山梨県立大学 名誉教授」であるため修正することを確認した。

7) その他

なし

2023 年度第 1 回役員会

日時: 2023 年 8 月 22 日 (火) 11:00~11:45

場所: 奈良女子大学 文学部系 S 棟 S123 教室

議事録抜粋

1. 報告事項

1) 企画担当報告 (與倉企画幹事)

資料 1 に基づいて 7 月 22 日オンライン開催した講演会について報告がなされた。助成を受けているため報告書を 1 ヶ月以内に提出する必要があり、早急に対応することを確認した。

2) 会計担当報告 (潮田部会長)

会計担当者欠席のため潮田部会長より資料 2 に基づいて報告がなされた。会費納入はセミナー時の現金納入ではなく、コロナ禍より継続している振込での納入とし、今後会計担当よりメールにて依頼されることが報告された。

3) 編集担当報告 (西原編集責任幹事)

資料 3 に基づいて、部会報の発行計画と構成案について報告がなされた。原著論文、海外レポート、書籍紹介を現在募集している。研究室紹介は共立女子大の前田先生に依頼し承諾された。

4) 庶務担当 (平岩庶務幹事)

資料 4 に基づいて会員の動向が報告された。学生会員 3 名の入会があり、8 月 18 日現在の会員数は、学生会員を 3 名から 4 名に修正し、計 74 名 (2 団体含む) である。斎藤秀子先生の会員種別が正会員より名誉会員へ移動したこと、海外会員は正会員に含むことを確認した。

5) HP 担当 (潮田部会長)

HP 担当者欠席のため、潮田部会長より資料 5 に基づいて、ホームページの更新内容について報告がなされた。

6) 第 41 回被服衛生学セミナーについて (芝崎第 41 回被服衛生学セミナー実行委員長)

資料 6 に基づいて 2 日間のセミナー予定について報告された。約 30 名の参加の予定である。

7) 2023 年度日本家政学会活動助成金申請について (潮田部会長)

資料 9 に基づいて今年度の助成金申請および結果について報告された。内田幸子先生より申請がなされており、本部の手続きが遅れていたが、6/10 付で申請 2 件の承認が確認された。

8) その他

なし

2. 審議事項

1) 2023 年度総会議事録承認について (潮田部会長)

資料 7 に基づき、5 月 28 日に開催した総会の議事録 (案) について説明がなされた。以下 3 点を修正する。

修正①

1 報告事項 1)2023 年度役員について 3 行目

現在の地域区分では今後の夏季セミナー実施が困難であるため→被服衛生学セミナー

修正②

2 審議事項 3)2023 年度編集計画案について 3 行目

査読料の検討を行うため、8 月の臨時総会にて提案すると説明された。

(理由) 以前からの検討事案であり、現在未だ十分な検討が行えておらず臨時総会にて提案しないため、以下二重線部分を取り消す。

修正③

2 審議事項 4)2023 年度 HP 計画案について 1 行目 HP 責 (間違い)

以上を修正することで議事録として承認された。本日の臨時総会にて、この 5 月総会議事録と部会員名簿 (役員の記事有) を資料に含めることとする。また部会員には議事録および資料を後日メールにて送信する。

2) 第 42 回被服衛生学セミナーについて (潮田部会長)

次年度は関東地区による開催となる。潮田部会長が実行委員長となり、8月27(火)、28日(水)東京家政大学を会場に開催する。DX(デジタルトランスフォーメーション)を含んだテーマを考えていることの説明がなされた。

3) 支部の区分について(潮田部会長)

会員減少により支部ごとのセミナー開催が困難なため、資料8に基づき、2025年度より東日本と西日本の2区分とし、人数比より中部支部を西日本に区分する提案がなされ、承認された。2025年度のセミナーは西日本の担当となるため実行委員長の検討を今後行う。

4) 2024年度日本家政学会活動助成申請の件(潮田部会長)

被服衛生学セミナーと公開講座の2件で申請する提案がなされ、承認された。

5) その他

第1回役員会議事録の承認は、役員へのメール審議にて行う。

今年度は予定した行事が全て終了したため、今後の役員会は実施せず、次回は次年度の総会の前とする予定との提案がされ、承認された。

2023年度臨時総会

日時: 2023年8月22日(火) 17:00~17:30

場所: 奈良女子大学 記念館

参加者: 19名 委任状 24名

議事録抜粋

1. 報告事項

1) 企画担当報告(與倉企画幹事)

資料1に基づいて7月22日オンライン開催した2023年度の講演会について、「障がいとファッションー被服衛生学分野から多様性への貢献を考える」をテーマに、参加者69名にて盛会裏に終了したことの報告がなされた。

2) 会計担当報告(代理潮田部会長)

資料2に基づいて、会費納入は昨年、一昨年と同様に振込での納入依頼がメールにて行われることの報告がなされた。

3) 編集担当報告(西原編集責任幹事)

資料3に基づいて、部会報の発行計画と構成案について報告がなされた。原著論文(10月中旬締切とする)、海外レポート、書籍紹介を現在募集している。原著論文の投稿希望が増えるような工夫検討をして欲しいとの意見があった。今後の検

討事項とし、次年度総会での提案の要望があった。

4) 庶務担当(平岩庶務幹事)

資料4に基づいて会員の動向が報告された。

5) HP担当(潮田部会長代理)

資料5に基づいて、ホームページの更新内容について報告がなされた。

6) 第41回被服衛生学セミナーについて(芝崎第41回被服衛生学セミナー実行委員長)

資料6に基づいて進行中のセミナーについて報告がなされた。

7) 2023年度日本家政学会活動助成金申請について(潮田部会長)

資料9に基づいて今年度の助成金申請および結果について報告された。5月総会時には申請されているか不明であったため部会長が確認を行った。内田幸子先生より申請がなされており、本部の手続きが遅れていたが、6/10付で申請2件の承認が確認された。

8) その他

なし

2. 審議事項

1) 2023年度総会議事録承認について(潮田部会長)

資料7に基づき、5月28日に開催した総会の議事録(案)について、役員会にて内容の確認を行った説明があり提案され、議事録として承認された。部会員には本議事録および資料を後日メールにて送信することの確認がされた。

2) 第42回被服衛生学セミナーについて(潮田部会長)

次年度は関東地区による開催とし、潮田部会長が実行委員長となり、8月27.28日東京家政大学を会場に開催する予定が提案され承認された。DX(デジタルトランスフォーメーション)を含んだテーマを考えていることの説明がなされた。

3) 支部の区分について(潮田部会長)

会員減少により支部ごとのセミナー開催が困難なため、資料8に基づき、2025年度からは東日本(27名)と西日本(24名)の2区分とし、隔年でセミナーを担当していくことの提案がなされ承認された。会則の変更は不要であることの確認をした。2025年度のセミナーは西日本の担当となるため実行委員長の検討を今後行っていく。

4) 2024年度日本家政学会活動助成申請の件(潮田部会長)

第 42 回被服衛生学セミナーと公開講座の 2 件
で申請する提案がなされ、承認された。

5) その他
なし

以上